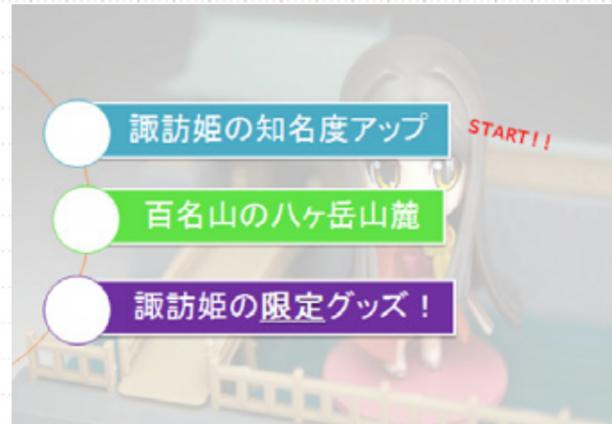


わが社では、「自由なアイデアとチームワークで技術との協力をはかる」という運営方針で活動した。しかし、積極性が足りなかったり、集まる時間があわなかったりと苦労しました。解決策として、社長が声掛けをし、各々に仕事を与えたり、スカイプという情報ツールを活用し、家に居ながら会議の場を設けたりして解決した。

商品開発を行うにあたりわが社は「諏訪姫の知名度アップ」「百名山の八ヶ岳山麓」「諏訪姫の限定グッズ」という3つに観点をあてた。



「諏訪姫の知名度アップ」

・自主作成のアニメについて
 諏訪姫の知名度アップの方法の1つで自主作成のアニメについて考えた。自主作成のアニメとはその名の通り、公式にアニメとして作るのではなく勝手にネットにアップロードしたアニメの事である。今現在ネット人口はテレビを見ている人より多いと言われてるので、方法としてそのアニメをインターネットの動画サイトへ配信する方法が挙げられる。また、諏訪姫には漫画もありますのでストーリーも考えられる。そのようになれば、諏訪姫の知名度は徐々に全国へつながっていくと考えられる。

・アプリについて

諏訪姫の知名度アップと諏訪地域への旅行者に向けての周知を目的にして思案した結果、案の一つとして諏訪姫を使ったアプリの開発案が提案された。このアプリは、諏訪姫と一緒に写真が撮れるというコンセプトで考えられた。写真の撮影画面の中で諏訪姫のサイズやポーズなどを設定して撮影を行うと、写真の中で被写体と一緒に諏訪姫が写った写真を撮ることが出来るというアプリで、このアプリを諏訪地域でのみ入手出来るようにすることで、お土産性を持たせた。

「百名山の八ヶ岳山麓」

山にきた事のある自分の考えやネットの意見の『山用品のお土産なら3000円まで、5000円まで』という意見を参考にし、3000円前後までなら収入が想定できると考えられる。3000円前後で山用品お土産を考えると、マウンテンパーカ、等が挙げられる。

マウンテンパーカであれば、普段着として使う消費者も少なくないため、安定した収入が望まれると考えられる。

ここで私が案として挙げるのは『諏訪限定カラー』のマウンテンパーカである。出来る限り安い価格で作製できる企業と提携を結び、作製してもらう。また『コロソバ、モンベル』などの専門企業でもよいかんがえる。ブランド効果が期待できるからである。

ここでカラーだが、あまりにも独特すぎると敬遠されてしまうため、あくまで『諏訪限定カラー』という名目のもと、既存商品とあまり変わらないデザインで作製してもらい、『諏訪限定』という『名前を売る』という方向が望ましい。『八ヶ岳限定カラー』等も山好きにはよいブランド効果が得られるかもしれない。また諏訪姫の着物のカラーを使用し、ワンポイントで上手く溶け込んだデザインの諏訪姫の姿をとり入れた『諏訪姫カラー』等もよいかもしれない。



限定性のある、ワンポイントデザインを!

登山者には『制覇精神』という山を制覇したという感覚のアウトドア精神がある。これについていけば、値段的にも十分収益が望めるのではないかと考えられる。また『行った証拠』としても十分に楽しめるので、私はマウンテンパーカ限定カラー案を提案する。

価格と機能面

マウンテンパーカに必要な機能として

- 主に、1. 透湿性◎ 2. 防水性◎ 3. ストレッチ性○ 4. 耐久性○ の四つが重要になってくる。

◎と○は重要性を表していて、◎の方が重要性が高い。

- そしてその機能を取り入れた価格の目安として、
- 価格①1+2=¥3900
- 価格②1+4=¥5900
- 価格③1~4=¥12000
- となる。

お土産としては一番安値が良いかもしれないが、安すぎると機能性上、商品としての売上げが望めなくなってしまう。

価格③は高すぎてお土産としての売上げが望めない。結論として、真ん中をとって価格②が望ましいと考えた。

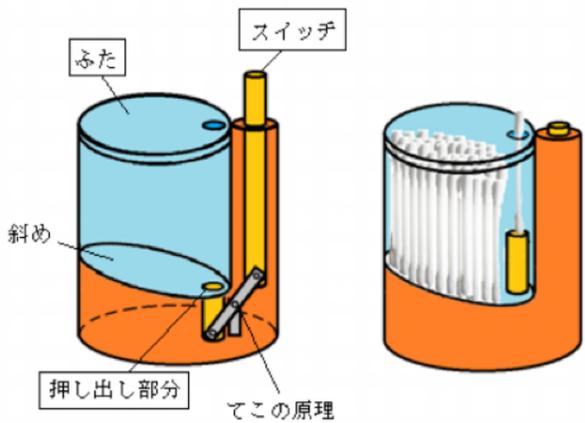
しかし、機能不足では売れないという可能性もある。ここで、コストのかからない斬新な機能はないか考えたところ、形状の変化でなら、大きくコストもかさまないのではないかと考えた。

その機能とは、リュックを背負った場合、背中和リュックの間で密着し、蒸れることを減らす機能である。

その機能を実現するには、歩いた時の揺れ(衝撃)で空気が背中方面へ流れやすい形状を作ればよいと考えた。

「諏訪姫の限定グッズ」

綿棒ケースは諏訪地域に温泉施設が多いことから温泉に関する物なら人気が出るのではないかと考え提案した。初めは入浴セットや入浴剤、耳かきなどの案が出たがどれも良い案が出ず、発売されている商品との差別化ができなかった。そこで脱衣所にある綿棒に着目し、ケースに入っている綿棒を1本ずつ簡単に取り出せる商品を考えて。



綿棒を1本ずつ衛生的に取り出す!

ケースの底は斜めになっていて綿棒が常に押し出し部分に下がってくる。スイッチを押すと、てこの原理によって下の棒がケースの底から上に押し出されて綿棒を1本取り出すことができる。ケースは透明で綿棒の減り具合が確認できる。

普通のケースでは取り出す際にどうしても他の綿棒に手が触れてしまう。しかし、この商品は1本ずつ取り出せることによって

温泉の脱衣所に置いて他人が触れた綿棒を使うことがないので衛生的である。また温泉のお土産コーナーで販売すれば、脱衣所で使用し気に入った人が帰る際に購入するであろう。

材料はプラスチックを使えば低予算で製作でき、機構も簡単なので価格は500円以下で販売できるのではないかと考えた。500円以下なら誰でも手軽に購入することができる。

手軽に持ち運びができるコンパクトタイプなどいくつか種類があれば更に売れると思う。